

報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第29、議案第11号 平成18年度長井市用地特別会計予算の1件について、予算特別委員長の報告は原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○大沼 久議長 起立全員であります。

よって、議案第11号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第30、議案第12号 平成18年度長井市水道事業会計予算の1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

議案第12号の1件について、予算特別委員長の報告は原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○大沼 久議長 起立全員であります。

よって、議案第12号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

ここで昼食のため暫時休憩いたします。

再開は、午後1時といたします。

午前11時54分 休憩

午後 1時00分 再開

○大沼 久議長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

なお、小関秀一農業委員会会長から、早退させてほしい旨の申し出がありましたので、ご報告いたします。

委員会付託の省略について

○大沼 久議長 ここでお諮りいたします。

これより上程いたします議案は、委員会付託を省略し、全員でご審査願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○大沼 久議長 ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

日程第31 議案第44号 長井市固定資産評価審査委員会委員の選任について

○大沼 久議長 それでは、日程第31、議案第44号 長井市固定資産評価審査委員会委員の選任についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

目黒栄樹市長。

(目黒栄樹市長登壇)

○目黒栄樹市長 議案第44号 長井市固定資産評価審査委員会委員の選任についてご説明を申し上げます。

本案は、平成18年3月28日をもって任期満了となる固定資産評価審査委員会委員、梅津健治さんを引き続き選任いたしたくご提案申し上げますのでございます。よろしくご同意賜りますようお願いを申し上げます。

○大沼 久議長 提案者の説明が終わりました。

本案は人事案件でありますので、質疑、討論は省略し、直ちに採決いたします。

議案第44号の1件について、原案に同意

することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○大沼 久議長 起立全員であります。

よって、議案第44号は、原案に同意することに決定いたしました。

日程第32 議案第1号 道路整備の財源確保を求める意見書の提出について

○大沼 久議長 次に、日程第32、議案第1号 道路整備の財源確保を求める意見書の提出についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

議席番号7番、町田義昭議員。

(7番町田義昭議員登壇)

○7番 町田義昭議員 提案者、賛成者を代表し、議案第1号 道路整備の財源確保を求める意見書の提出についてご説明申し上げます。

道路は、市民生活と経済・社会活動を支えるために欠かすことができない、最も基本的な社会資本であり、21世紀の社会基盤を計画的に拡充するためには、道路整備は一層重要なものとなっております。

しかるに、政府は、昨年12月、道路特定財源に関して、暫定税率を維持したまま一般財源化する方向で見直しを決定しました。

道路特定財源が一般財源化され、道路事業費が減額になれば、高規格道路の未整備区間を抱える地域は、生活基盤の立ちおくれからさらに広がり、各市町村が目指すまちづくりにも重大な影響を及ぼすことになります。

そこで、道路特定財源の見直しに当たっては、計画的な道路整備を推進するため、

道路整備予算を十分に確保するとともに、国の責任において地域の期待する道路整備を推進するように、政府、関係機関に意見書を提出いたすものであります。

よろしくご賛同くださいますようお願い申し上げます。

○大沼 久議長 提案者の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○大沼 久議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第1号の1件について、討論を行います。

ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○大沼 久議長 ご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第1号は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○大沼 久議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第1号は、原案のとおり決定いたしました。

日程第33 議員派遣の報告

○大沼 久議長 次に、日程第33、議員派遣の報告であります。

別紙議員派遣報告書のとおり、平成17年4月から平成18年3月までに、地方自治法第100条第12項の規定により、議員を派遣いたしましたのでご報告いたします。

なお、報告には、議長の派遣、会派、並びに議員個人に対するものは含まれており

ませんことを、ご承知おき願います。

日程第34 閉会中における継続審査申出書

○大沼 久議長 次に、日程第34、閉会中における継続審査申出書の1件を議題といたします。

お諮りいたします。

お手元に配布いたしました申出書のとおり、閉会中の継続審査に付することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○大沼 久議長 ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

最後にお諮りいたします。

本定例会において議決されました議案の中で、条、項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○大沼 久議長 ご異議なしと認めます。

よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

以上で本日の議事は全部終了いたしました。

ここで、市長よりあいさつをいたしたい旨の申し出がありますので、これを受けることといたします。

目黒栄樹市長。

(目黒栄樹市長登壇)

○目黒栄樹市長 3月議会、皆様のご協力をいただきまして、予算を初め新年度の基本

的な方向を決定をいただきました。心からまず御礼を申し上げます。

特に、今年度末で第一次の行財政改革、財政再建は、おかげさまで歳出の面ではかなり成果を上げることができたと思っております。

いよいよ第二次の自立計画に基づいた、さらに改革を前進させていきたい。今後ともご指導、ご鞭撻を心からお願いを申し上げます。

考えてみますと、私が皆様からご支援をいただき、市民の皆様によって市長にさせていただいたとき、天気为例えればどしゃ降りの雨の中でありました。借金は386億円、預金はなし、現金は340万円、1日除雪をすればそれで終わりであります。

しかし、皆様のご協力と議会の皆様のご支援と職員の皆様のご協力、市民の皆様さんからもこの5年間我慢をしていただいて、圧倒的なご支援をいただいた。今日お見えのマスコミの山新青塚支社長初め多くの方々からも後押しをいただいた。おかげさまで、どしゃ降りの雨が曇りとなったのが去年あたりか、ようやく薄日が差し込んでくる。薄日が漏れる状態になったと思います。

改革の方向性は、私は市民の皆様にも自信を持って方向性は間違っていなかったと申し上げてまいりました。一つは、官から民へであります。民間の皆様が主役で、官が支援、サポートをするまちづくりであります。それが私の協働のまちづくりでありました。民間委託は、調理場初め水道の一部、斎場、保育事業、いきいき号、公民館、図書館と進んでまいりました。今後もさらに、福祉の分野であるとか、我妻議員のご提案の窓口等にも取り組んでいかなければいけないし、先進的な東根等も事例も

+

ありますから、取り組んでいける体制ができつつあると私は思っております。

改革の方向性の第2番目は、予算をシフトすることにあります。それは一つは、プライマリーバランス。国で言えば、借金を返す、そして借金をする。借金を返すのは、ことし国では18兆円であります。借金をするのは30兆円を切ったといっても29兆円です。まだまだ借金の方が多いわけですから、借金はふえていくわけです。プライマリーバランスを2010年代で何とか同じようにしたいと、こう思っております。それをいち早く実践してきて借金の返済を多くして、そして我慢してきて、プライマリーバランスを維持してきたのは、長井市を初め改革の市町村であります。

さらに、市町村のプライマリーバランスは、それはやはり議論は終わりでしようけれども、将来に対する投資は、公共事業がすべてあてなんてわけにはいかない。将来に対する投資は、基準財政規模の10%程度。7億円程度の原資をもとにして、どれぐらいの市民の皆さんの要望にこたえていくかやらなきゃいけない。

それから、福祉の分野もご指摘のように、お年寄りの福祉の分野がありますが、全体で7割、子供に4%。これはやはりできるだけシフトをしていかなければいけないと私は思っております。施策を重点化し、集中化をしていく。そして、具体的な成果を上げていく。そういった予算でなければいけないと思います。

3番目の方向は、私は、いわゆる官民格差の解消だと思います。年金は国の問題ですが、私の親父の兄弟、男5人ですが、家を継いだ私の親父だけは国民年金、あとは学校の先生、一番最後は大学教授ですが、親父だけは年金3万6,000円ですから

ね。あとの皆さんは25万円ですよ。国に1対7の貢献度だったんですか。そうではないはずですから。納税をしてきたのはむしろ民間でありますから、この年金の問題でも、私はやはり、今言われている地域加算であるとか、追加費用であるとか、手厚くまだまだ市町村でも行っている。変えていかなければいけない。あるいは天下り。国の局長クラスは、生涯賃金が10億円あります。81歳の長岡實さんは、まだ3,000万円取っているとされている。「10.5.3」という言葉がありますが、10億円が国の高級官僚、県は5億円、市は3億円と。天下りは市にはありませんが、国等はそのとおり天下り天国であります。60を過ぎてから5億円稼ぐんですから。だからみんな役人になりたがるわけですから。これはしかも税金であります、ほとんど。掛け金は、今でも共済年金は厚生年金よりも安いですよ。天下りがあると、こういった官民格差を解消していく、このことが私は重要だと思っております。

これからは、例えば議会の皆さんのご協力も得て、特別職の報酬も3万人口前後のプラスマイナス5,000ぐらいのすべてを調査をして、その中で適正なものを決めていく。2,000人のまちと350万人の市で余り変わらないなどということが、これはあってはならないことではないかと。それをしているから、どんどん小さいところはだめになっていくのではないかと。確かに多少の地域格差が生まれますが、地域内格差が広がっていくことの方が問題であります。

私は、この議会が終わりましたら、企画調整課長と総務課長に、人事院特区を申請してみろと。職員の皆さんの給与も、その地域のやはり民間の近づけていくような努力をしていかなかったら、持続可能な地方

の行政自治体はできないものだと思います。何も初めてだからというのではない。官民格差を縮めていく、そして地域が生き残っていく。公的なサービスが持続可能になっていく。そのためには、いろんな取り組みが必要であります。もちろん新たな課題もどんどん出てくる。ニーチェが言うように、時代はまさに課題の提出者であります。しかし、新たな課題も、そして基本的な課題も、私はみずからの言葉で言えば、知恵と度胸とアイデアで、みんなが力を合わせて、市民がみんな力を合わせて、我々も議員の皆さんも力を合わせていけば、私は前進できるのではないかと思います。

現在よりももっとチャンスが平等で、頑張った人が報われて、流した汗が報われて、結果が多少不平等であるならば、第二の年金、福祉、医療等のセーフティネットでそれは補っていく。平和で安全・安心な社会、今よりももっといい社会をつくるために、政治も経済も文化もマスコミの皆さんも力を合わせて、知恵と度胸とアイデアで頑張っていこうではありませんか。私も、微力ながら、残り12月14日まで全力を尽くして、この地域のために、長井のために、そして山形県のために、日本のために、世界の一員として頑張っていきたいと思えます。皆様の従来以上のご指導とご鞭撻、ご支援ご協力をお願いを申し上げまして、御礼のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

閉 会

○大沼 久議長 これをもって、平成18年第1回長井市議会定例会を閉会いたします。

ご協力、まことにありがとうございました。

午後 1時20分 閉会

会議録署名議員

議 長 大 沼 久

17 番 蒲 生 吉 夫

18 番 佐々木 榮 七

19 番 島 田 友 市

+